

## 柔道整復学科 3つのポリシー

### ディプロマポリシー

- 【知識】
1. 高い教養と倫理観を身につけている。
  2. 柔道整復師としての専門知識を修得している。
  3. 柔道整復術を礎とした統合医療への幅広い知識を修得している。
- 【技能】
1. 柔道整復師としての実践的な専門技術を身につけている。
  2. 科学的思考に基づいた判断能力とリスクマネジメント能力を身につけている。
  3. 自ら問題を発見、課題を設定し、その解決のための実践力を身につけている。
  4. 医療の高度化、多様なニーズに対応できる技術を身につけている。
- 【態度】
1. 『自他共栄』の精神に基づく行動ができる。
  2. 探求心を持って自己研鑽に努めることができる。
  3. 多様性を理解しグローバルに活躍することができる。
  4. 生涯にわたって社会に貢献し自ら生き抜くことができる。

### カリキュラムポリシー

#### 1. カリキュラムの編成方針

柔道整復学科の教育課程は、ディプロマポリシーに掲げた目標を達成するために、「柔道整復師養成施設指導ガイドライン」の教育の内容を基本として、「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」「応用分野(応用分野は昼間部のみ)」の4つに分けてカリキュラムを編成する。

#### (1) 基礎分野

- ① 科学的・理論的思考力を育て、専門基礎知識の基盤を身に付けるとともに幅広い知識を学ぶことができる科目を配置する。
- ② 文化や生活環境への理解を深め人間性を磨き、自由で主体的な判断と行動を培う科目を配置する。
- ③ 生命倫理、人の尊厳を幅広く理解し、高い教養と倫理観を身に付ける事を目的とした科目を配置する。
- ④ 国際化及び情報化社会に対し多様なニーズを理解し、グローバルに活躍できる能力を養うための「外国語」の必修科目を配置する。
- ⑤ 柔道整復術の源を理解し、『自他共栄』の精神の教養を学ぶことのできる「柔道入門」の必修科目を配置する。

#### (2) 専門基礎分野

- ① 人体の構造と機能及び心身の発達を系統立てて理解できる能力を養い、医療の高度化や人間の多様性に対応する力を身につけるために必要な科目群を配置する。
- ② 健康、疾病、外傷及び障害について学び、治療や予防、生活における支援、社会復帰に必要な知識・技術を習得するための科目群を配置し、判断能力やリスクマネジメント能力を養う。
- ③ 適切な柔道整復術を行うために必要な業の理解、適応、倫理について学び、柔道整復師が果たすべき役割について考え行動する能力を養うための科目群を配置する。
- ④ 柔道整復の源を学ぶとともに、健全な身体を育成し、礼節をわきまえた人格を形成する能力を養うために「柔道」科目を配置する。
- ⑤ 医療人及び社会人としての倫理観と生活、社会、環境を取りまく諸問題を理解し対応するために必要な科目を配置する。

### (3) 専門分野

- ① 柔道整復の枠組みと理論を理解し、系統的な柔道整復の施術を行うことのできる基礎的能力を養うため「基礎柔道整復学」の科目群を配置する。
- ② 「基礎柔道整復」を基に、柔道整復術の実践的方法やそれに関する対処方法とリスクマネジメントを理解し、問題解決能力や判断能力を養うための「臨床柔道整復」の科目群を配置し、柔道整復に関しての社会的要請の多様化や統合医療に対応できる力を身につける。
- ③ 評価、鑑別、検査方法を適切に対応できる知識と技術を身に付け、自らが探求心を持って研鑽し、医療の高度化、多様なニーズに対応できるための総合的な科目群を配置する。
- ④ 種々の外傷に必要な治療と予防の技術を習得し、臨床的観察能力、分析力を養う「柔道整復実技」の実技科目群を配置する。
- ⑤ 柔道整復師としての臨床現場における実践的知識・技術・思考力と保険の仕組みに関する知識を習得し、患者との適切な対応、施術者としての責任と自覚を学ぶ「臨床実習」の科目群を配置し、生涯に渡って社会に貢献し自ら生き抜くことができる力を養う。

### (4) 応用分野

- ① 初年次より、社会人・医療人としてのマナーや態度を身に付けるための講義演習科目を配置する。
- ② 総合的な知識とその定着を目指すための講義演習科目を配置する。
- ③ 各学年で知り得た知識を統合させ、的確な判断能力を養うための講義演習科目を配置する。

## 2. カリキュラムの実施方針

以下の点に留意しつつカリキュラムを実施する。

- ① 問題解決能力やコミュニケーション能力を高めるとともに、自己研鑽が図れるようアクティブラーニングを積極的に取り入れる。
- ② 自主的・自立的な学習習慣を身に付け、セルフマネジメント能力を高めるために必要な課題を課す。
- ③ 定期的に学習理解度・習熟度の確認を行い、その結果を学生にフィードバックするとともに、多面的な評価を行う。
- ④ 学生一人ひとりの学生生活や学習状況を把握し、学生個々に合わせた指導やサポートを行う。
- ⑤ ディプロマポリシーに掲げる「知識」「技能」「態度」の習得をより一層図り、将来像の具現化を目指すため、授業科目群に加えてゼミを設ける。

## アドミッションポリシー

### ■ 求める人材として重要視すること

1. 医療・福祉・美容・健康・スポーツ分野に関心を持っている。
2. 他人を敬い、謙虚さと思いやりの心を持っている。
3. 「成長したい」「自分を変えたい」と思っている。

### ■ 有していると望ましいこと

- ・ 医療人として先駆的な視点を持ち、主体的に活躍したいと思っている。
- ・ 柔道整復師、鍼灸師を通じて統合医療に興味関心を持っている。
- ・ 多様性を受け入れ、グローバルな視野をもって活躍したいと思っている。